

# 黄金沢左岸尾根～王博士～博士山～黄金沢 下降

増田 寿代

■山行年月日:2021年2月20～21日

■メンバー:増田寿代、大竹尚子、  
大竹幹衛、国分勉、佐藤伸也、  
齋藤美和子、石川貴大

この週末に山に行きたく、駒止湿原周  
辺で歩くスキーか博士山はどうかしら  
と、尚子さんに相談した結果、国分さん  
お勧めの博士山のルートに決まった。7  
人の大人数と雪洞掘り、なんだか楽しそ  
うな予感。

平日は雪が続いたらしいのに、金曜日  
には止んで本日も土曜日は快晴。皆さん  
の日頃の行いが良いのでしょうか。小野川  
の集落を9時半に出発。こまめに休みつ  
つ細い樹々の斜面を登って行けば、立派  
な山毛櫨もある広い尾根へ。ゆったりと  
した王博士はだいぶ遠く見えるので、雪  
洞を掘る時間があるか少し心配になる。  
しかしその心配は無用だった。真っ青な  
空の下、霧氷で真っ白なブナの森を緩や



もうすぐ王博士



雪洞掘りの指導

かに登ればそこはもう王博士。ただいま  
14時半。今日は計画通り王博士に泊ま  
ることにする。

南寄りの端の雪庇の下を掘る。雪洞掘  
りなんて私は20年振りくらいなので掘  
り方など忘却の彼方だ。国分さんの指示  
の下、みんなで協力して掘ること2時  
間。7人で宴会できるほど広くて快適な  
雪洞の完成！早速集まって乾杯！お疲  
れ様でした。しかしビールが出てきたの  
には驚いた。みんな沢山呑んで食べて喋  
って笑って、凄く楽しそう。皆さん素晴  
らしく元気でとても仲良しですねえ。私  
も20年後にそうならいいな  
あ。夜はちょっとした前線が通過すると  
尚子さんが言っていた通り、寝る頃には  
雪と風。雪洞は全く風を感じる事無く  
静寂の中で眠る。(テントには幹衛さん  
と尚子さんと佐藤さん。私は雪洞に泊ま  
らせていただきありがとうございます。)

朝はのんびりと起きだして8時出発。曇っているが視界は良い。スノーシューの国分さんと別れ、王博士から鞍部に下る。この滑り（滑れてないけど）、なかなか疲れました(-\_-;)。鞍部から博士に向かって登り返しているうちに急速に天気が回復。また真っ青な空と真っ白なブナの森。今日も美しい斜面を嬉々として登れば博士だ。雪庇の下の広場で大休止。ここでも泡立ち系の飲み物を色々いただく。ご馳走様です。今度私も冬でも泡立ち系背負って来よう。



美しい森

今日は斎藤さんが黄金沢右岸尾根を登ってくるそうなので、こちらも予定変更して尾根を降りようかという話にはなっていたけれど、幹衛さんは黄金沢を下りたいと言う。私も先ほどの王博士の下りで尾根の滑りが不安になり黄金沢に一票。だいたい斎藤さんは予定通り登って来ているかが分からないので、尚子さんも石川さんも電話をするが出ない・・・。尾根を行きたいというメンバーもいないので、もし斎藤さんが登って来ていたら申し訳ないとは思いつつ、シールを外して滑りだす。

緩やかなブナの森は私でも楽しく滑

ることができた。林道のほぼ平らな下りが長いが、みんなでトップ交代しながら楽しく滑っていく。そして斎藤さんのトレース発見。ありゃー。コールしたけど、もう聞こえるはずも無い。まあ仕方ない。そのまま集落に到着。すでに国分さんは車に乗って来てくれていた。ありがとうございます。車の回収を待っている間に、斎藤さんが下りてきたのでした。本当にごめんなさい・・・。

帰りは私が風呂に入りたと言ったので、わざわざ白樺荘に寄っていただいたけれど臨時休業中で残念。ここで解散。皆さん大変お世話になりました。美和子さんには私を田島まで送迎していただきありがとうございます。すっかり空腹だったので、二人で田島の富じ亭で腹ごしらえ。石焼ビビンバとても美味しかったです。満腹で会津鉄道野岩鉄道東武鉄道に揺られて帰ったのでした。また今回も良い山行が出来ました。

ところで。博士山はなぜ『博士』と付いているのでしょうか？『王博士』も気になります。『黄金沢』は浪漫時代に『おごん沢』と聞いていました。これらの名に付いてどこかに書いてないですかね？お分かりになる方は是非ご教授願います。